

科目名	医療と経済 (Medical Economics)			科目コード	162
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	選択	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	3 年次前期	関連DP	看①⑤、臨①③
担当教員	小淵 港*				
授業概要	我が国の公的医療制度と医療保険制度について、経済的側面からの理解を深めるために、資本主義経済と医療との関係、医療制度を含む社会保障制度の発達、少子高齢化の進行と医療費の見直しを中心に、具体的事実を踏まえながら講義を進める。社会保障制度論等と合わせて履修すれば理解が深まる。				
授業目標	経済と医療との関係について必要な知識を修得し、少子高齢化に伴って増加する医療費を、社会が負担していけるのかどうか、どのように負担していくのか、自ら考え、自らの意見を持ちうるようになることが目標である。医療と経済に関する新聞記事、雑誌記事等を理解できる。				

授業計画

回	項目	内容
1	講義ガイダンス 医療と経済－概観	講義の狙い、進め方等を説明すると同時に、医療と経済の関係を概説する
2	資本主義経済の仕組み	資本主義経済の仕組みを学び、政府の活動が必要となる理由を理解する
3	資本主義経済と社会保障	資本主義経済の不安定性との関係で、社会保障制度が形成されてきたことを、理論的・歴史的に検討する
4	公的医療制度・医療保険制度の現状と課題 (1)	日本の社会保障制度の発達を、公的医療制度、医療保険制度を中心に検討し、現状と課題を明らかにする
5	公的医療制度・医療保険制度の現状と課題 (2)	日本の社会保障制度の発達を、公的医療制度、医療保険制度を中心に検討し、現状と課題を明らかにする
6	少子高齢化と 社会保障・医療費 (1)	今後の医療費の見通しとその負担のあり方について検討する
7	少子高齢化と 社会保障・医療費 (2)	今後の医療費の見通しとその負担のあり方について検討する
8	まとめ・試験	講義の要点整理・試験
成績評価方法		筆記試験によって評価する。
教科書		
参考図書等		小塩隆士「高校生のための経済学入門」(ちくま新書) 伊藤誠「入門 資本主義経済」(平凡社新書)
授業時間外の学習について		授業時間外の学習の進め方について、予習・復習が必要な場合は、準備学習の内容や必要時間等を書く。
関連科目		138 医療と法 163 社会保障制度論
備考		シラバスは教員のスケジュール上の都合や、進度との関係によって変更する場合がある。